

会場が一つになった「みどりの風」

校長 伊藤 登美子

7月20日、潟上市市民センターかたりあんを会場に創立20周年記念音楽会を開催しました。

折しも、7月15日から秋田県を襲った記録的な大雨により被害を受けられたご家庭もある中で、予定通り実施することへの迷いもありましたが、子どもたちの元気な歌声をお届けすることで、保護者の皆様の気持ちを少しでも癒やしたり元気づけたりすることができるのではないかと考えました。当日はたくさんの方の保護者の皆様や卒業生が来場してくださいました。

第1部は、潟上市出身で国際的ピアニストである千田佳大様、その弟さんで老舗佃煮屋株式会社千田佐市商店を経営する傍ら、ピアニストであり、エフエム秋田「クラシックの扉」のパーソナリティーを務めていらっしゃる佐市様によるピアノリサイタル、第2部は、児童生徒が作詞・作曲し、佐市様に補作・編曲していただいた



創立20周年記念曲「風をうたおう」と校歌「みどりの風」を佐市様の伴奏に合わせて全校児童生徒で合唱しました。校歌は卒業生や保護者の皆様も交えた大合唱となり、会場が一つとなって、まさに創立20周年記念にふさわしい音楽会となりました。

音楽会終了後に高等部生徒会長に感想を尋ねると、「これまで練習を重ねてきて、今日は自分自身すごく感動したし、達成感を感じました」とのこと。創立20周年記念事業を進めるに当たっては、児童生徒が主体となって行事を企画したり進行したりしながら一人一人が活躍する機会、皆で20周年をお祝いするとともに地域の皆様にこれまでの感謝を伝える機会にしたいと考えております。ご来場くださった皆様の感想をうかがうまでもなく、児童生徒自身がやりきった感を感じてくれたのであれば、この音楽会は大成功です。

私も、子どもたちから元気と感動をもらった一日でした。